

同意説明書

研究統括責任者
栗山町社会福祉協議会
事務局長 高田 宏明

1. 研究の名称及び当該研究の実施について許可を受けている旨

この研究の名称は、「地域における支えあいの可能性とケアをする人の生活に関する調査」です。また、この研究は、北海道科学大学の許可を受けて実施します。

2. 研究機関の名称及び研究責任者の氏名

研究責任者 北海道科学大学保健医療学部看護学科 講師 山本道代
研究統括責任者 栗山町社会福祉協議会 事務局長 高田 宏明
研究者 栗山町社会福祉協議会 総務係長 月輪 淳紹
研究者 栗山町福祉課 課長 森 英幸
研究者 北海道科学大学保健医療学研究科(博士後期課程) 大学院生 木島 輝美

3. 研究の目的及び意義

日本は介護を必要とする人が増え続けています。それに伴い、家庭や地域において無償でケアをする人も増えていきます。栗山町では、そのような形でケアをしている人々を「ケアラー」と位置づけ、社会福祉協議会を中心に「ケアラー支援事業」を実施してきました。例えば、一人暮らし高齢者の緊急対応、見守りや相談業務のために在宅サポーターの採用、まちなかケアラズカフェ「サンタの笑顔」の開設など様々な取り組みを行っています。これらに取り組み始めて 10 年が経過したことから、事業に対する地域住民のニーズを再評価する必要があると考えました。そこで、この研究では、地域におけるケアラーの皆さまの実態や支援に関する要望を明らかにすることを目的とします。ケアラーの皆さまの実態や要望を詳細に把握することで、ケアラーの生活を支援する制度やシステム構築の貴重な基礎資料となると考えています。

4. 研究の方法及び期間

ご自宅に調査票と返信用封筒を郵送します。調査票に回答した後は返信用封筒に入れて返送してください。回答していただいた内容は、研究目的以外に使用しません。

5. 研究対象者として選定された理由

この研究は栗山町のケアラーの実態調査です。そのため、栗山町にお住まいのすべての皆さまに協力をお願いしています。

6. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

調査票への回答時間は 20 分程度です。複数回に分けて回答することができますので、生活に支障がない時間を使って回答してください。ご自分のケアの現状を深く考えることで不安や不快になる場合は、調査にご協力いただかなくても不利益はありません。調査結果は、地域のケアラー支援体制の整備や新たな制度を考えるための資料となります。将来的に、栗山町のケアラーの皆さまへの支援につながると考えています。

7. 研究が実施又は継続されることに同意した場合であっても随時これを撤回できる旨

調査にご協力いただき、同意して調査票を返送した後は匿名化されます。そのため、誰の回答なのかが分からなくなりますので、調査票を返送した後は調査への協力が撤回できないことをご了承ください。

8. 研究が実施又は継続されることに同意しないこと又は同意を撤回することによって研究対象者等が不利益な取扱いを受けない旨

この調査にご協力いただけない場合でも、一切の不利益がないことを保障します。

9. 研究に関する情報公開の方法

この同意説明書に書いてある内容をお読みいただき、研究へのご協力をお願いいたします。また、研究結果は、学術団体の学術集会や論文として公表する他、栗山町社会福祉協議会のホームページで公表します。

10. 研究対象者等の求めに応じて、他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できる旨並びにその入手又は閲覧の方法

研究の情報開示を求められる場合は、他の研究協力者の個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲で遅滞なく開示します。

11. 個人情報等の取扱い(匿名化する場合にはその方法を含む。)

調査は無記名で行い、回収は郵送ですので、回答者が特定されることはありません。回収した調査票は、栗山町社会福祉協議会で電子データ化します。紙媒体の調査票及び電子データは、大学側の研究責任者に対面で受け渡すことで漏洩防止に努めます。電子データは、外付けハードディスクあるいは USB メモリにパスワードをかけて保存し、コンピュータ本体には保存しません。また、パスワードは定期的に変更します。コンピュータは定期的に更新されたウィルス対策ソフトが導入されたものを使用します。USB メモリなど使用する電子媒体も定期的にウィルスチェックを行います。分析などで電子データを扱う際にはネットワークから切断した状態で行います。紙媒体及び電子媒体のデータはすべて施錠可能な棚に保管し盗難防止に努めます。電子機器及びデータを持ち運ぶ場合は、目視できる場所に置くなど盗難防止に注意します。研究で得られた結果は、研究目的以外に使用せず、公表の際には匿名化を徹底します。

12. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

回収した調査票と電子データは、鍵のかかる棚に研究終了後 10 年あるいは研究結果の最終公表について学長に報告した日から 3 年を経過した日のいずれか遅い日まで保管します。保管期間終了後は、電子データは、読取り不可能な状態にまで物理的に破壊するか、他のデータを複数回上書きして元のデータを復元不可能な状態にします。また、紙の調査票は裁断処分を行います。

13. 研究の資金源等、研究機関の研究に係る利益相反及び個人の収益等、研究者等の研究に係る利益相反に関する状況

本研究は、令和 2 年度社会福祉振興助成事業の助成を受け、栗山町と北海道科学大学が共同で調査を実施します。企業などとの利益相反はありません。

14. 研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応

研究に対する相談や分からないことがある場合は、以下の連絡先にお問合せください。

栗山町社会福祉協議会（高田 宏明、月輪 淳紹） 電話：0123-72-1322 FAX：0123-72-5121